

一般質問

村川 四郎 議員

成果の出ない銀鮭養殖事業は 即中止を



【質問】 過去2年大きく失敗し今年度休止中の銀鮭養殖事業は、佐渡では当初計画の生産が不可能なことが明確となった。来年度は、再開せず即中止を決断すべきではないか。

助金の全額投入は問題である。また契約、運行の中止、撤退の経緯と今後の空路の早期再開に努力すべきだ。

【市長】 平成23年7月の新日本航空株式会社による運行再開後、安定した運行体制や利用促進事業について県及び事業者と定期的に協議を重ねてきた。しかし、就航機材の相次ぐ故障やパイロット、整備士の欠員が生じて、安定運行の維持体制ができなくなり、本年3月末で無期限の運休となった。この会社の対応に問題があり遺憾に感じている。島民の安全、安心、観光客の移動手段の確保、さらに空港2000メートル化推進のためにも、路線の早期再開に向けて県と離島航空路運行の航空会社と現在折衝をしている。

【質問】 中止した佐渡〜新潟航空路は、就航率5割で補助金の全額投入は問題である。また契約、運行の中止、撤退の経緯と今後の空路の早期再開に努力すべきだ。

【市長】 平成23年7月の新日本航空株式会社による運行再開後、安定した運行体制や利用促進事業について県及び事業者と定期的に協議を重ねてきた。しかし、就航機材の相次ぐ故障やパイロット、整備士の欠員が生じて、安定運行の維持体制ができなくなり、本年3月末で無期限の運休となった。この会社の対応に問題があり遺憾に感じている。島民の安全、安心、観光客の移動手段の確保、さらに空港2000メートル化推進のためにも、路線の早期再開に向けて県と離島航空路運行の航空会社と現在折衝をしている。

【市長】 医療、介護の維持は、離島、へき地、少子高齢化で、より深刻な課題。将来的な医療、介護の需要予測、配置、機能分担、地域包括ケアなどを勘案の上、あるべき姿を検討している。佐渡では、6つの病院を核として、医療と介護の連携の地域包括ケアシステムの構築が重要だ。市立病院の将来計画は、無医地区へのへき地診療、往診救急医療を担うことで、責任は重大である。人材確保は、奨学金制度の拡充、県からの派遣医師の継続、新潟大学との連携強化等に力を入れている。

一般質問

岩崎 隆寿 議員

県立佐渡中等教育学校の給食存続について



【質問】 今回の経緯を申し上げると、県立佐渡中等教育学校の給食については、県と市が協議した結果、市が提供するものとした上、応分の負担を県はしないとの内容で、平成20年度に契約を締結している。しかし、平成23年10月に、市が方向転換し、県に対して応分の額の負担を求める申入れをしたため、県と市の間でおよそ1年間に及ぶ協議を続けた上、平成26年度で給食を終了することで合意し、覚書を交わすこととなった。

【市長】 今年10月に開催された第14回の学術会議において佐渡金銀山の価値が明確になり、平成26年度末の推薦書提出が事実になったという状況である。文化庁のほうからの課題の一つに看板の問題とかアクセスの問題とか、これについては平成27年度の当初予算の中で積極的に整備するように考

【質問】 体育協会とスポーツ振興財団の合併について進捗状況は。また、総合型スポーツクラブへの取り組みについて問う。

【教育長】 11月の体育協会理事会でスポーツ振興財団との合併について承認され、これを受けて統合準備委員会を立ち上げて、来年6月の合併を目的に組織運営や定款変更の協議を進めているところである。総合型スポーツクラブについては地域でのクラブ設立を推進していきたいと考えている。

【市長】 県としては、当該覚書に基づき、平成27年度以降はミルク給食とし、昼食として弁当を斡旋する方向で準備を進めていたが、昨年6月の佐渡市議会定例会一般質問において市長は、平成27年度以降も給食を継続し

【市長】 今年10月に開催された第14回の学術会議において佐渡金銀山の価値が明確になり、平成26年度末の推薦書提出が事実になったという状況である。文化庁のほうからの課題の一つに看板の問題とかアクセスの問題とか、これについては平成27年度の当初予算の中で積極的に整備するように考



佐渡を世界遺産に



一般質問

佐渡が元気になる事業実施を

中村 良夫 議員



【質問】 消費税10パーセント、アベノミクス経済対策、集团的自衛権、原発再稼働、沖縄新基地など民意を無視して暴走する安倍政権。アベノミクスで消費税増税の問題は明確になった。(佐渡の暮らしはよくならない)

共産党議員団が提案・実施されている何点かを佐渡経済が元気になるよう提案する。

【市長】 1点目に住宅リフォーム支援事業を実施すべきだ。

【市長】 平成27年度の対応をどうするかは分析中だ。

【質問】 2点目の提案は、商店版リフォーム助成事業だ。住宅リフォーム支援事業と同じように本格的に創設し、実施していくためにも職員に群馬県高崎市を視察させるべきだ。

【市長】 高崎市が地域活性化

の施策をやっていることについて、職員が勉強する必要があるので指示をする。

【質問】 3点目の提案は、地域の公民館施設、集落センターなど公民館分館施設等整備支援事業だ。これらの施設は地域づくりの拠点であり、災害時の避難場所となる。改修補助は各地域から大変喜ばれている。継続して実施すべきだ。

【教育長】 国の経済対策をみながら市全体で検討する。

【質問】 4点目の提案は、介護保険制度の中に介護予防、住宅改修費支給と高齢者、障がい者向け住宅整備補助事業がある。対象経費の20万円を上限に費用の9割が支給され、個人負担は1割で済む。

2年間で経済波及効果56億円、補助額の15倍【佐渡のニュー住宅リフォーム支援の事業効果】

	第1回	第2回	総計
リフォーム件数	635件	652件	1,287件
補助金額	約1億8,700万円	約1億9,000万円	約3億7,000万円
工事費総額	約14億2,000万円	約14億7,000万円	約29億9,000万円
経済波及効果	約27億5,000万円 14.8倍	約28億5,000万円 15.1倍	約56億9,000万円 15.0倍

おおいに宣伝と徹底した周知をすべきだ。また、利用者負担について一旦全額を負担しなければならぬので改善すべきだ。

【市長】 事業の周知は全ての関係機関を通じ、制度の普及をしていく。支払制度の改正は、平成27年度介護保険制度改正の中で対応する。

【市長】 庁舎は、馬鹿でかいものをつくるということではないし、分散しているものを一つにまとめることで、事業効率も上がってくる。また、合併特例債の適用期間が延びたことにより、防災対策のためにも重要である。

【財務課長】 現在の佐渡市の財政状況は健全な状態であり、すぐに破綻団体になるような状況にはないと考えている。

若い人で、しかもご夫婦



一般質問

甲斐市政に警鐘を鳴らす

大澤祐治郎 議員



【質問】 夕張市などの状況を私なりに調べたが、本当に佐渡市は財政再建団体にならないでいけるのだろうか。財政が伴わなければ、どんな政策を出しても何の意味もないことである。

佐渡市将来ビジョンは、あくまでも希望的観測に過ぎないのではないか。こんな財政事情の中で、庁舎を建設できるのか。

【市長】 庁舎の定着あるいは雇用機会の確保について具体的な対策を聞きたい。若い者をどうやって連れてきて、どこに就職させるのか。

【市長】 まず佐渡から出る人となるべく少なくし、出たとしても帰ってきてもらうということが必要だと思っ

ていて、もう一つは交流人口の拡大ということをや

で入ってきていただきたいということ、いわゆるIターン、Uターンの定住促進対策もやっている。そういうものが増えていって、その人たちが組織をつくり、佐渡にどんどん呼び込めるように考えている。

その変化の一つとして、今後、交付税の削減の復活等が予定されているので、現在では、むしろ上方修正の必要性を感じている。

【質問】 若者の定着あるいは雇用機会の確保について具体的な対策を聞きたい。若い者をどうやって連れてきて、どこに就職させるのか。

【市長】 まず佐渡から出る人となるべく少なくし、出たとしても帰ってきてもらうということが必要だと思っ

ていて、もう一つは交流人口の拡大ということをや



佐渡市将来ビジョン

一般質問

加賀 博昭 議員

2人の県議は空港2kmのPI調査を4年遅らす



〔質問〕 佐渡空港2000メートルのPI調査（住民意向調査）の請願の紹介議員になることについて、中野県議は反対しただけでなく、「陳情」に切り換えた11団体に取り下げると妨害をしたが認めるか。

〔交通政策課長〕 11団体のうちの3団体がその後取り下げたのは事実だ。

〔質問〕 これでは飛行場はできないので、全く無名の新人佐藤久雄氏を告示まで25日しかなかったがトップ当選させた。ところが平成24年1月13日金曜日、2月に辞職して、4月の市長選挙に立候補すると新聞発表したが間違いはないか。

〔交通政策課長〕 報道で私も確認した。

〔質問〕 「佐藤久雄を育てる会」は3日後に解散したが、PI調査には1500万円程度と試算しているが間違いないか。

〔交通政策課長〕 以前の議会の議事録に、1000万円程度の記録がある。

〔質問〕 地権者同意について、戦術的工夫が必要だが、私を講師に招いて打開策について相談したらどうだ。

〔市長〕 すぐにとれるということであるなら、すぐに講師としてお願いしたい。

〔質問〕 佐渡で手術ができなかった脊髄損傷患者のジェットフォイルの搬送が、佐渡汽船との緊急患者輸送協定ではばまれていて、半年以上放置した理由を聞きたい。

〔市民生活課長〕 救急患者搬送協定には医師が看護師の同乗が条件だ。

ジェットフォイルの患者搬送の責任を問う

〔質問〕 私と副社長の交渉で5分間で解決したが、協定書第10条、「本協定にないものは甲、乙協議する」とある。

〔社会福祉課長〕 本人に確認して対処すべきであったと反省している。

〔質問〕 全国的動向を見る。



告示まで25日しかない佐藤氏をトップ当選させた

一般質問

中川 直美 議員

行政サービスを「安ければいい」でなく公契約条例の精神での業務の委託を



〔質問〕 「安ければいい」が基準の発注（入札、指定・業務委託、物品調達等）は、働く人にしわ寄せになり公共サービスの質を落とす。基準を決めた公契約条例を実施すべきだ。

〔市長〕 全国的動向を見る。

〔質問〕 北埠頭施設の業務委託は年間2人常駐で月20万円は、最低賃金以下だ。市職員も配置することは偽装請負になる。

〔市長〕 個人でなく会社に委託したので、会社がそれ以上支払う。工事入札等、安い発注のしわ寄せは人件費にまわっている。この委託会社の給与はどうか。

〔市長〕 給与額は知らないが笑顔で働いている。

〔質問〕 臨時職員賃金は、低賃金で問題である。

〔総務課長〕 主旨は理解できる。今後、検討材料にする。

〔質問〕 消費税10パーセント増税は、今後経済状況に関係なく実施する。消費税転嫁できない病院部門の影響は。

〔市長〕 経済動向は重要で、一年半先送りしても、増税には反対。8パーセント影響は、試算で2900万円となる。

〔質問〕 市に返還される温泉施設は、5年前の譲渡時の市民への約束を守るべきだ。地域福祉計画の流れで位置づけるべきだ。

〔市長〕 民間で継続することで、条件を変え再公募すること、運営補助は行わないが市民の健康増進・福祉、憩いの場として大事と考えている。

〔質問〕 安倍政権は介護保険制度を改悪し、特養入所は介護3以上や要支援者は保険から追い出し、ボランティア等での対応だが。

〔高齢福祉課長〕 法律が変わった。その中で地域の実情に合わせてやっていく。

〔質問〕 要支援等の新総合事業は、事業者には安く、利用者には高くなるが。

〔高齢福祉課長〕 制度は、その方向と認識しているが、中身は市に任せられるので検討していく。

〔質問〕 高齢者の多い島として、制度改悪されたらどうなるかの対応を入れた計画をつくるべきではないか。

〔高齢福祉課長〕 本格実施を3年後にするので、全国事例も参考に長いスパンで考える。

〔質問〕 行革路線の地域の図書館再編の方向は。

〔教育長〕 従来どおり1図書館9分館の存続。利便性向上のため支所等に移転の計画だが、来年度は現状のままである。専任再配置の相川は月15日間、午後4時間と代替で月2日配置。

〔質問〕 司書の重要性を認めた学校図書館法改正にあわせ学校に司書をしっかり配置すべき。

〔教育長〕 来年度、法改正に対応して7ブロックで学校司書を配置。図書標準を下回っている学校もある。重点的に学校図書充実を努めていく。

〔質問〕 要支援等の新総合事業は、事業者には安く、利用者には高くなるが。

一般質問

金田 淳一 議員

佐渡汽船(株)の経営姿勢に問題あり



質問 佐渡汽船(株)は経営改善のために、赤泊・両津航路で来年から大幅な減便を計画し地元説明会を行っている。利用者の視点に立つことなく、誠に身勝手である。汽船幹部は11月27日に市議会との懇談会に出席しながら、減便の説明なしに帰っていく姿勢は許し難い。市長は事情を知っているのか。

交通政策課長 趣旨については聞いていたが、具体的に七百何便という数字は承認していなかった。

質問 この様な姿勢について、市長は第一に抗議するべきである。ダイヤ改正には北陸信越運輸局に届け出が必要になるのだが、佐渡全体として両津・小木・赤泊同レベルで取り組むべきでないか。

市長 私は正直、説明会をやったということを知りなかつた。今日の質問を受け、資料を確認してびっくりしている。長岡市と一緒に組んでいく。新しい船を走らせることは考えられないか。

質問 両泊航路の説明会の中で、住民は少々の波で揺られて欠航してしまう船では展望が開けないと絶望している。また、汽船幹部はどのような船を建造してしまつた責任は会社にあると認めている。そのような状況なのに、汽船は乗客が少ないことを理由に、将来の就航を担保できないと言いついてきている。新しい船を走らせることは考えられないか。

市長 議員懇談会の趣旨は小木航路に就航する「あかね」が北陸新幹線開業に間に合わないことに関する説明だった。ここまでの減便については聞かされていない。

市長 地元住民の意見が重要であることは事実である。今後この視点に立つて、就航船の効果的な改善策の検討も含め、具体的な対応が確保されるよう強く求めていきたいと考える。

質問 交通政策課長は12月4日午後3時から小木地区での説明会に出席している。私はそこで資料を見て驚いたが、減便の内容を課長は知らされていたのか。

市長 現に期間の延長、そして対象品目の拡充ということを強く要望している。

質問 佐渡汽船の貨物運賃が高いとの指摘を聞くが、海上貨物輸送費に關し佐渡

一般質問

佐藤 孝 議員

島民の生活物資の海上輸送費にも支援を



質問 佐渡は離島であるがゆえの海上輸送があるため、本土の地域と比べ物資の輸送に費用が多くかかる。佐渡へ入ってくるすべての原材料や商品等にも運賃支援をすべきだ。

市長 佐渡航路確保維持改善協議会の会長は県の局長である。この協議会の中でサービス基準の問題や、運賃の問題等については検討する必要があるが、今の段階では休止状態である。現在、長岡市等と協議をし、本年度中に開催したいという状況になっている。

市長 離島住民の生活に關わる物資の輸送費等についても、支援を拡大するよう強く国に要望していきたい。

質問 佐渡汽船の貨物運賃が高いとの指摘を聞くが、海上貨物輸送費に關し佐渡

市長 現に期間の延長、そして対象品目の拡充ということを強く要望している。

質問 国が使用を推進しているジェネリック薬品の使用により患者の負担減と医療費の削減等につながるが、市立病院はもつと推進すべきではないか。

両津病院管理部長 両津病院では昨年10月で8・5パーセントだった割合が本年9月で、13・7パーセントと

質問 住宅リフォームは経済対策ではなく、当初予算で計上すべきではないか。



ときわ丸